

授業科目名	人体のしくみとはたらきⅡ	担当者	柳井 和年
単位	—		
時間数	34時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	前期
授業の到達目標	人体の構造や各器官系統の働きの意味を、生活行動の観点から理解する。また骨格・筋・神経・感覚・血液・生体防御・循環・呼吸・消化・吸収・内分泌・腎尿路・生殖系について理解する。		
授業の概要	解剖生理学は、後に続く病態の理解や対象の健康障害を理解するために重要な科目である。看護の対象である人体のしくみとはたらきについて、各器官の部位、構造と機能を系統的に学ぶ。		
授業計画	<p><血液系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液の組成と機能 ・止血機構 ・血液型 <p><消化器系.></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口、唾液腺、咽頭、食道、胃、小腸、大腸、肛門、肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜 ・消化・吸収の生理 消化運動、消化・吸収のしくみ、消化管の各部位の機能 <p><内分泌系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外分泌と内分泌 ・ホルモン ホルモンと情報の伝達、ホルモンの分泌調節機構 ・内分泌器官とホルモン 視床下部-下垂体、甲状腺、カルシウム代謝、副腎、性腺、膵臓、松果体とメラトニン ・体温とその調節 生体でのエネルギー変換、体温と体温調節、発熱 <p><腎・尿路系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・腎臓 ・尿路 ・腎・尿路系の機能 水バランス、尿の生成、畜尿と排尿 		
テキスト	新看護学1 人体のしくみとはたらき 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験(100点)		